

第1回黒部市立荻生小学校運営協議会記録

- 1 日時 令和6年5月24日(金) 15:00~16:00
- 2 場所 荻生小学校会議室
- 3 出席者 飯野 勇 (荻生自治振興会長)
前田 俊雄 (荻生公民館長)
中島 一稔 (荻生小学校PTA会長)
倉田 由紀 (荻生保育所所長)
大田 真由美 (荻生地区主任児童委員)
飯村 美恵子 (荻生地区ボランティア部会長)
松島 春男 (有識者 前荻生自治振興会長)
矢木 浩樹 (荻生小学校長)
事務局:市教育委員会(担当 小倉学校教育課長、若島学校教育班長)

4 内容

- (1) 教育長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 運営協議会規則の説明
- (4) 会長、副会長の選出 会長 飯野 勇 氏 副会長 前田 俊雄 氏
- (5) 協議

①学校運営方針 校長 矢木委員より説明

- ・「とやま型学校評価アクションプラン」とは、どのようなものか(言葉の説明要求)。
- ・上辺だけを見て評価することは難しい。学校行事等に参加し、子供たちと接し、見守っていくことが必要である。
- ・「やさしく、かしこく、たくましく」という視点からの今までの評価は、子供の自己評価と保護者による他者評価で温度差があり、それはそれで当を得ていた。今年度は、電子媒体についての項目がある。現状は厳しいのではないか。どのような形で働きかけていくのか。

②学校と地域の協力体制について 校長 矢木委員より提案

- ・毎年やっていることの積み重ねがある。新しいこともやってもよい。皆さんの視点を生かしてやってほしいことはないか。
- ・もう少し汗水流して、たくましく取り組むようなことがあってもよい(公民館の草むしり等)。根拠をもって粘り強くできることや、地域の人との深い交わりがあってもよい。
- ・昨年度実施した6年生と荻生保育所交流はよかった。
- ・1分団(新堂)からの区域外通学者(桜井小、中央小へ)が多い。2分団には、若栗小へ通う子供もいる。地域活動を活性化して、歯止めをかけるのはどうか。
- ・もう少し「開く」。学校と地域が互いにしたいこと・してほしいことを伝え合っていく。

③令和6年度学校運営協議会実施計画について 校長 矢木委員より提案

※学校運営方針、計画について賛成多数で承認